

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会 (SWIM)

専門委員長 須栗裕樹 副委員長 宇田川佳久

幹事 荻野 正・結城 修 幹事補佐 丸山文宏・永吉実武

日時 11月29日(土) 10:00~16:55

会場 東京工芸大学中野キャンパス(中野区本町2-9-5. 地下鉄東京メトロ丸ノ内線/都営地下鉄大江戸線:中野坂上
駅下車徒歩約7分. <http://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/> TEL [046] 242-9529 宇田川佳久)

議題 ビジネスモデリングの実装とインタープライズ(ワークショップ)

1. 社会システムにおいて継続進化するモデルのデザイン技法—人間の認識と価値観及び動的モデルの構図—
長 香奈恵
2. Practical Methodology to control QCD of Information systems in super upper stream—How to enable IT to contribute to achieve business goals— Reiso Kimura (DreamITDreamIT Research)
3. シーケンスマイニングアルゴリズムを用いた構造クローンの検索方式 宇田川佳久(東京工芸大)
4. A study of learning method for intrusion detection system using machine learning
Tadashi Ogino (Okinawa National College of Tech.)
5. 組織間にまたがる事業の問題構造抽出のための事業構造CLD縮小化手法
○田中英里香・長岡晴子・宮本康一郎(日立)
6. [特別講演] 要求獲得プロセスの定量的観測と評価 中谷多哉子(筑波大)
7. 同一モデル表現言語と異種のモデル表現言語で観察するデータベース設計の評価 嶋津恵子(慶大)
8. 巨大災害発生超急性期用救命情報共有システムデザイン案 嶋津恵子(慶大)
9. 多品種ドメインモデルを用いたアプリケーション開発の再利用性向上
○根路銘 崇(IBM)・沼尾雅之(電通大)
10. ビジネス顕微鏡を用いた管理者見回り施策による軽作業生産性向上の定量評価 佐藤信夫(日立)
11. ビジネスモデルを科学する報告008—2年間の報告及び今後の方向性—
○片岡信弘・野地 保(東海大)・堀米 明(フィジオ)・黒瀬 晋(NEC)・小松昭英(APSOM)・増井久之(電気学会)
12. 研究テーマSWIMに見る重要課題と技術的解決方向—可能性と蓋然性— 松本正雄(横BITA研)

☆SWIM研究会今後の予定 []内発表申込締切日

2月28日(土) 機械振興会館[12月12日(金)] テーマ:ビジネス評価と信頼性, 学生セッション

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

黒瀬 晋(NEC)

E-mail: s-kurose@pd.jp.nec.com